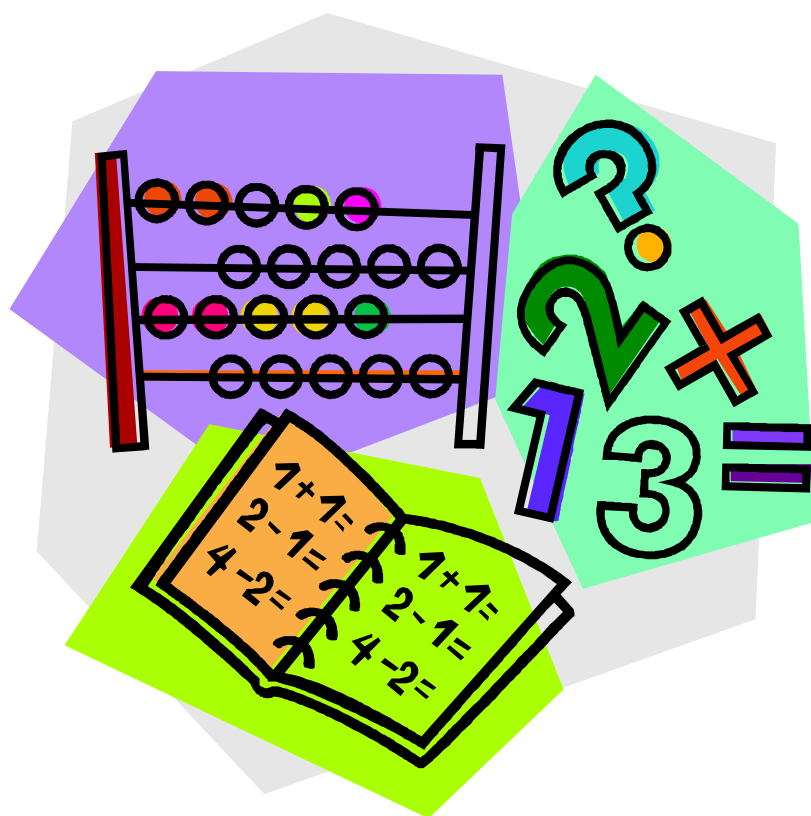


年末年始課題帳

小学5年

算 数



組 番 氏名：

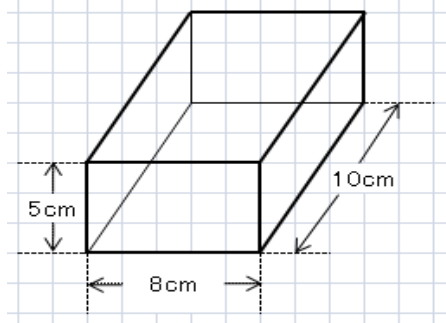
小学5年 算数 1

1 次の計算をしなさい。

- (1) $80 - 30 \div 5$
 (2) 3.5×0.6
 (3) $9.9 \div 0.8$ の商を、四捨五入で、 $\frac{1}{10}$ の位までの概数で表しましょう。

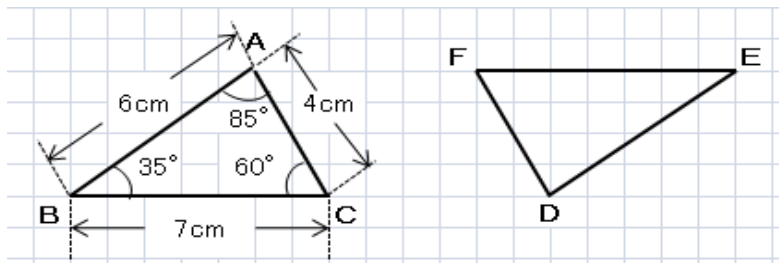
(1)	
(2)	
(3)	

2 下の図形の体積を求めなさい。



しき	
こたえ	cm ³

3 下の2つの三角形は合同です。次の問題に答えなさい。

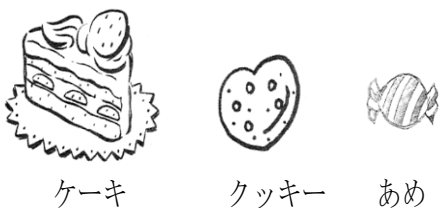


(1)	cm
(2)	
(3)	°

- (1) 辺DEの長さは、何cmですか。
 (2) 辺BCと対応する辺はどれですか。
 (3) 角Dの大きさは、何度ですか。

4 ケーキのねだんは320円です。ケーキのねだんはクッキーのねだんの4倍です。クッキーのねだんはあめのねだんの2倍です。

(1) クッキーのねだんはいくらでしょう。



(2) ケーキのねだんは、あめのねだんの何倍ですか。

(1)	円
(2)	倍

小学5年 算数2

1 次の計算をしなさい。

(1) $12 + 18 \div 3$

(2) $\frac{3}{7} + \frac{4}{7}$

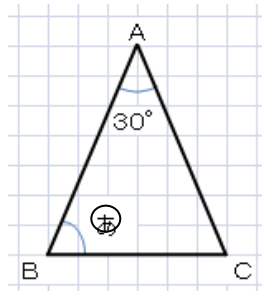
(3) $12 \div 0.6$

(1)	
(2)	
(3)	

2 三角形ABCは二等辺三角形です。

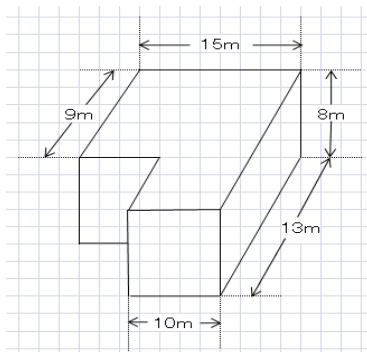
(1) 三角形の3つの角の大きさの和は何度ですか。

(2) 右の図で、 \textcircled{a} の角の大きさは何度ですか。



(1)	°
(2)	°

3 次の図形の体積を工夫して求めなさい。



(1) 体積を求める式を書きなさい。

(2) 体積を求めなさい。

m^3

4 クレヨン1箱とえん筆5本を買うと、650円になります。
 クレヨン1箱とえん筆3本を買うと、490円になります。
 下の図を利用して、つぎの問題に答えましょう。

クレヨン	えん筆	えん筆	えん筆	えん筆	えん筆
------	-----	-----	-----	-----	-----

クレヨン	えん筆	えん筆	えん筆
------	-----	-----	-----

(1) えん筆1本のねだんは何円ですか。

(2) クレヨン1箱のねだんは何円ですか。

(1)	円
(2)	円

小学5年 算数 3

1 18 と 24 の 2 つの数について、次の問いに答えましょう。

- (1) 18 の約数をすべて求めましょう。
- (2) 18 と 24 の公約数をすべて求めましょう。
- (3) 18 と 24 の最小公倍数を求めましょう。
- (4) 18 と 24 の最大公約数を求めましょう。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

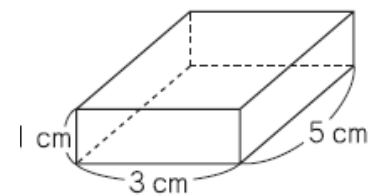
2 次の数の大小関係を、不等号を使って式に書きましょう。

- (1) $\frac{1}{6}$ $\frac{1}{7}$
- (2) $\frac{10}{3}$ $\frac{100}{33}$

(1)	
(2)	

3 右の図のような直方体があります。

この直方体の縦 5 cm、横 3 cm の長さは変えずに、高さを 1 cm、2 cm、3 cm、…… と変えます。このとき、体積がどのように変わるかを調べ、下の表にまとめました。



直方体の高さと体積

高さを 2 倍、3 倍、…… にすると、体積はどのように変わりますか。次の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 2 倍、3 倍、…… になる。
- 2 1 5 倍、3 0 倍、…… になる。
- 3 1 5 倍になる。
- 4 変わらない。

高さ (cm)	1	2	3	4	5
体積 (cm ³)	15	30	45	60	75

4 1. 8 L の油がビンに入っています。これを 0. 4 L 入るビンに分けていきます。0. 4 L 入ったビンは何本できて、油は何 L ありますか。式と答えを解答らんにご答えましょう。

式
答え _____ 本できて、 _____ L あります。

小学5年 算数4

1 次の計算をしましょう。

(1) $\frac{1}{6} + \frac{1}{3}$

(2) $2\frac{3}{4} + 1\frac{4}{5}$

(3) $\frac{2}{3} \times 3$

(4) $1\frac{3}{8} \times 4$

(1)		(2)	
(3)		(4)	

2 次の に当てはまる数を求めましょう。

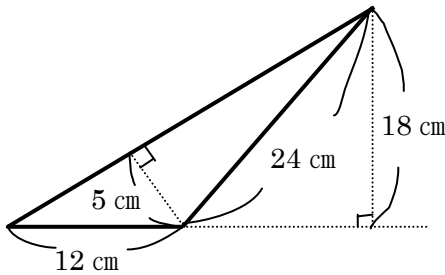
(1) $7.35 = 7 + \frac{\text{□}}{100}$

(2) $\frac{25}{10} = 2 + \text{□}$

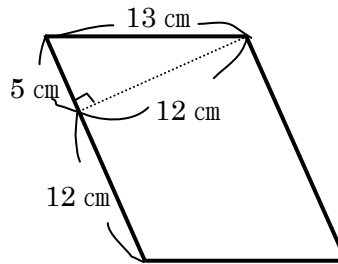
(1)	
(2)	

3 次の面積を求めましょう。

(1) 三角形

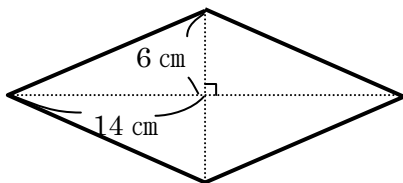


(2) 平行四辺形

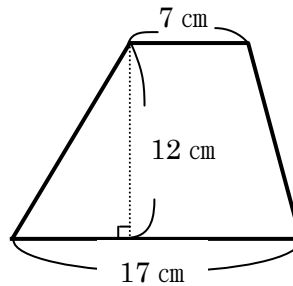


(1)		cm^2
(2)		cm^2
(3)		cm^2
(4)		cm^2

(3) ひし形

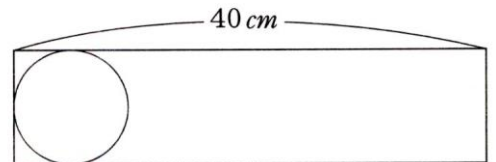


(4) 台形



4 右の図のような横の長さが 40 cm の長方形のあつ紙に、半径 4 cm の円をかいてコマを作ります。

できるだけたくさんのコマを作ると、1まいのあつ紙から、コマはいくつできますか。式と答えを書きましょう。

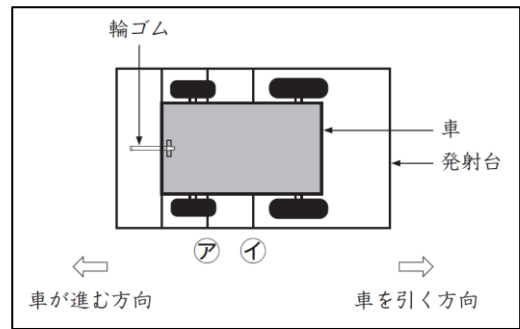


式

こ

小学5年 算数5

かずやさんたちは、ゴムの力で動く車を作りました。右の図のように、車と発射台を輪ゴムでつなぎ、車を引いて輪ゴムの力をのばしてから放すと、車が進みます。車の先頭が、図の㊦の位置にくるまで輪ゴムの力をのばした場合と、㊧の位置にくるまで輪ゴムの力をのばした場合に、どれだけ車が進むのかを調べます。



まず、車の先頭が㊦の位置にくるまで輪ゴムの力をのばした場合の、車が進んだきよりを5回調べ、表1のようにまとめました。表1をもとに、きよりの平均を考えます。

表1 ㊦の位置にくるまで輪ゴムの力をのばした場合の記録

回数	車が進んだきより
1	2 m73 cm
2	80 cm
3	2 m87 cm
4	2 m69 cm
5	2 m91 cm



かずや

2回目は、車が大きく曲がってしまい、記録を正しくはかることができませんでした。そのため、2回目の記録をのぞいて平均を求めます。

(1) 2回目の記録をのぞいて、4回分の記録を使って車が進んだきよりの平均が何cmになるかを求めます。下の1から4までの中の、どの式で求めることができますか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 $(273+287+269+291) \div 4$
- 2 $(273+80+287+269+291) \div 4$
- 3 $(273+287+269+291) \div 5$
- 4 $(273+80+287+269+291) \div 5$

次に、車の先頭が㊧の位置にくるまで輪ゴムの力をのばした場合の、車が進んだきよりを5回調べ、表2をもとに、きよりの平均を考えます。

表2 ㊧の位置にくるまで輪ゴムの力をのばした場合の記録

回数	車が進んだきより
1	7 m52 cm
2	7 m31 cm
3	7 m54 cm
4	7 m20 cm
5	7 m43 cm

かずやさん、平均を求める計算をかんたんにするために、7 mをこえた部分に着目し、次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

7 mをこえた部分の平均を求めます。
 $(52+31+54+20+43) \div 5 = 40$
 7 mに、求めた平均の40 cmをたします。
 車が進んだきよりの平均は、7 m40 cmです。

【かずやさんの平均の求め方】を聞いたはるなさんは、次のように考えました。



はるな

7 mのかわりに、7 m20 cmをこえた部分に着目しても、平均を求めることができます。


(2) 7 m20 cmをこえた部分に着目した平均の求め方を、言葉や気を使って書きましょう。

小学5年 算数 6

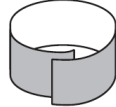
さくらさんたちは、学校の黒板に輪かざりをつけようと思い、先生から折り紙をもらいました。折り紙の枚数は100枚でした。1枚の折り紙からは、折り紙の輪を5個作ることができます。折り紙の輪を30個つなげて、輪かざりを1本作ります。

輪かざり1本の作り方


① 折り紙を同じはばで5に切ります。



② 切った折り紙のはしの部分にのりをつけて、もう一方のはしの部分と重ねてはりあわせると、折り紙の輪が1個できます。



③ 折り紙の輪を次のようにつなげていきます。



④ 折り紙の輪を30個つないだものを、輪かざり1本とします。

さくらさんたちは、図1のように、横の長さが7mの黒板を、50cmずつに区切って、上の部分に輪かざりを1本ずつたるませながらつけようと計画しています。

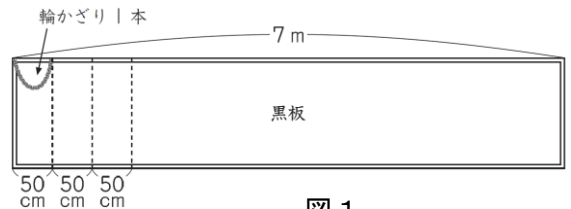


図1

- (1) 横の長さが7mの黒板の、はしからはしまで輪かざりをつけるためには、折り紙の枚数が100枚あれば足够了。そうたさんは、そのわけを、次のように説明しようとしています。

【そうたさんの説明】

黒板の横の長さは7mなので、700cmです。黒板のはしからはしまで輪かざりをつけるために必要な輪かざりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。

【そうたさんの説明】に続くように、折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを、式や言葉を使って書きましょう。

黒板の横の長さは7mなので、700cmです。黒板のはしからはしまで輪かざりをつけるために必要な輪かざりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。

もらった折り紙は、赤、青、黄、緑の4色が、それぞれ同じ枚数ずつありました。さくらさんは、折り紙の輪を、右の図2のように、赤、青、黄、緑の順にくり返しつなげて、輪かざり1本を作ってみました。

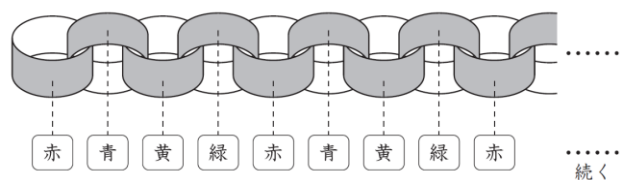


図2

- (2) 右上の図2のように、1個目の折り紙の輪の色を赤にして、輪かざり1本を作ったとき、30個目の折り紙の輪の色は何色ですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 赤 2 青 3 黄 4 緑

小学5年 算数 7

児童会で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月までの間に集める目標は、1000個でした。7月までの4か月間に集めた個数は、右の表のとおりです。

7月までの4か月間に集めた個数

月	4月	5月	6月	7月
個数(個)	1891	1982	2903	2473

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。



まなぶ

集めた個数の合計は、目標に達しているかな。



はるか

目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すればわかります。およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ①四捨五入する ②切り捨てる ③切り上げる



ゆうと

切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数 1891 1982 2903 2473
 ↓ ↓ ↓ ↓

およその数の計算 1000+1000+2000+2000=6000

実際の数より小さい数にして和が6000だから、集めた個数の合計が6000個以上であることはわかります。

(1) 四捨五入して計算します。次の①の式に入る数と、②に入る数を書きましょう。

四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数 1891 1982 2903 2473
 ↓ ↓ ↓ ↓

およその数の計算 + + + = ②

①

実際の数より小さい数にして和が ② だから、集めた個数の合計が約 ② 個であることはわかります。

①

②

(2) 9月から12月までの間に集める目標も、10000個です。

11月までの3か月間に集めた個数は、右の表の通りです。

はるかさんは、目標に達するには、12月におよそ何個のキャップを集めればよいかを、次のように考えました。

11月までの3か月間に集めた個数

月	9月	10月	11月
個数(個)	3009	2514	2120

はるかさんの考え

3か月間に集めた個数の合計を、次のようにして計算します。

実際の数 3009 2514 2120
 ↓ ↓ ↓

およその数の計算 3000+2000+2000=7000

目標の10000個に達するには、12月に3000個集めればよいはずですが。

はるかさんのおよその数の計算で、12月に3000個集めればよいことがわかります。実際の数で計算しなくても、12月に3000個集めればよいことがわかるのはなぜですか。そのわけを、言葉と数を使って書きましょう。